

○プログラムの目的

「A I戦略2019（統合イノベーション戦略推進会議決定）」に基づき、「文理を問わず、すべての大学生が、初級レベルの数理・データサイエンス・A Iを習得する」及び「自らの専門分野への数理・データサイエンス・A Iの応用基礎力を習得する」という国家戦略の達成に向けて、全学部学生を対象とした数理・データサイエンス・A I教育プログラムを実施する。

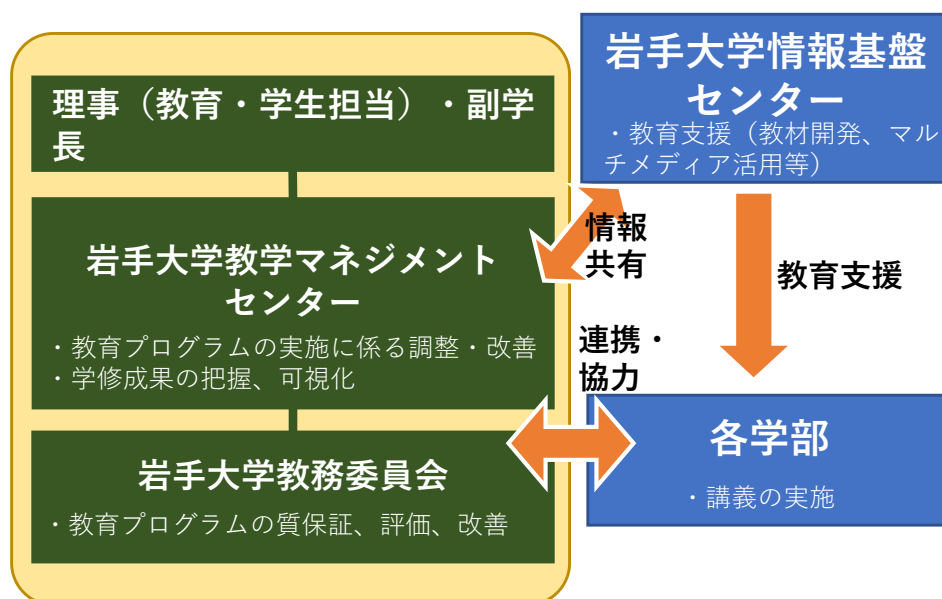
○身に付けることのできる能力

本特定プログラムを履修することで人文社会科学部の教育内容を深め、自らの専門分野に新たな価値を付加することを目指す

- ・人文・社会科学分野に数理・データサイエンス・A I技術を応用できる
- ・データを地域社会・国際社会にかかわる諸問題の解決につなげることができる
- ・目的に応じて適切なデータ収集・分析・表現を行うことができる
- ・ビッグデータ, A I技術の社会での活用で生じる問題点について理解し, 説明できる

○プログラム実施体制

岩手大学教学マネジメントセンターは、「教育の実施に係る調整及び改善に関すること」、「学修成果や教育成果の把握・可視化に関すること」等、岩手大学情報基盤センターは、「情報教育に関すること」、「教材開発及びマルチメディア環境を活用した教育活動の支援に関すること」等、岩手大学教務委員会は、「教育の実施（内部質保証を含む。）に関すること」、「教育の評価に関すること」、「教育の改善に関すること」等を任務としている。2つのセンターと岩手大学教務委員会が連携・協力し、「A I戦略2019（統合イノベーション戦略推進会議決定）」に基づき、「文理を問わず、すべての大学生が、初級レベルの数理・データサイエンス・A Iを習得する」という国家戦略の達成に向けて、全学部学生を対象とした教育プログラムの策定、実施、質保証、教育改善・進化を行う。



岩手大学 MDASH 応用基礎プログラム（人文社会科学部）

○修了要件・科目構成

教養教育科目「情報基礎」および学部共通科目「統計的機械学習実践」の2科目4単位の修得をプログラム登録要件として、「基礎統計学」「統計学（検定・推定）」「環境経済論B」から1科目2単位以上、「プログラミング基礎」「プログラミング入門」から1科目1単位以上を含め、合計4科目7単位以上を履修すること。

授業科目	必修	選択	修了要件
情報基礎	2		2
基礎統計学		2	2
統計学（検定・推定）		2	
環境経済論B		2	
プログラミング基礎		1	1
プログラミング入門		2	
統計的機械学習実践	2		2
合計			7